慣用句(中級)プリント18（ルビつき）

月　日　名前 _____

問1　「一目置く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は努力家で、クラスの誰もが一目置いている。
2. 碁盤の上に石を一目置いて対局を始めた。
3. 部屋の隅に荷物を一目置いて休憩する。
4. 相手の顔をじっと見て一目置くことにした。

問2　「手に負えない」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. このパズルは手に負えないので、五分で解けた。
2. 手に負えないので、両手でしっかり抱きしめた。
3. 手に負えないほど、きれいな花が庭にさいた。
4. あまりに暴れる子犬は、もう手に負えない。

問3　「二枚舌」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 二枚舌を鏡で見て健康状態をチェックする。
2. 二枚舌を使っておいしい料理を味わった。
3. 彼は相手によって言うことが違う二枚舌の人物だ。
4. 彼は二枚舌を抜いて手術の準備をした。

問4　「鯖を読む」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 市場で新鮮な鯖を読んでから購入した。
2. 彼は自分の年齢の鯖を読んで若く言った。
3. 計算が苦手で、鯖を読んで合計を出した。
4. 鯖を読んで料理のレシピを覚える。

問5　祭りの太鼓の音を聞くと（　）が騒ぐ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 血
2. 骨
3. 肉
4. 汗

問6　「鼻っ柱が強い」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 高い山に登ったので、鼻っ柱が強くなった。
2. 鼻っ柱が強いので、マスクがうまくつけられない。
3. 鼻っ柱が強いから、においをよくかぎ分ける。
4. 彼は鼻っ柱が強く、自分の非を認めようとしない。

問7　聞きたくない話なので、（　）をふさいだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 鼻
2. 耳
3. 口
4. 目

問8　事件の裏で誰かが（　）を引いているようだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 糸
2. 紐
3. 縄
4. 綱

問9　「上の空」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 屋上の空を見上げると、とても天気が良かった。
2. 上の空の雲を眺めて、のんびりと休日を過ごした。
3. 高い上の空から地上を見下ろすと怖くなった。
4. 考え事をしていたせいで、授業 中は上の空だった。

問10　「腹を探る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 宝の地図を頼りに、洞窟の腹を探る。
2. 腹を探ると、中からおいしいお弁当が出てきた。
3. 彼は何も言わないが、相手の腹を探るような目つきだ。
4. 友達の腹を探って、昨日食べたお弁当の中身を当てた。

問11　上司の（　）をうかがいながら話す。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 顔色
2. 手先
3. 足元
4. 背中

問12　「手を回す」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 手を回して、相手の背中をたたいた。
2. 手を回して、重い荷物を持ち上げた。
3. 彼は当選するために、裏から手を回した。
4. 運動不足だったので、手を回してストレッチをした。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント18（ルビつき）　答え合わせ・解説

問1　答え 1　彼は努力家で、クラスの誰もが一目置いている。

「一目置く」の正しい使い方は「彼は努力家で、クラスの誰もが一目置いている。」です。 意味は「相手が自分より優れていると認め、敬意を払う」です。

問2　答え 4　あまりに暴れる子犬は、もう手に負えない。

「手に負えない」の正しい使い方は「あまりに暴れる子犬は、もう手に負えない。」です。 意味は「自分の力では扱いきれず、どうにも処理できない」です。

問3　答え 3　彼は相手によって言うことが違う二枚舌の人物だ。

「二枚舌」の正しい使い方は「彼は相手によって言うことが違う二枚舌の人物だ。」です。 意味は「相手によって矛盾したことを言うこと」です。

問4　答え 2　彼は自分の年齢の鯖を読んで若く言った。

「鯖を読む」の正しい使い方は「彼は自分の年齢の鯖を読んで若く言った。」です。意味は「自分に都合がいいように、数を適当にごまかす」です。

問5　答え 1　血

「血が騒ぐ」の「血」の部分が入ります。 意味は「興奮してじっとしていられない気持ちになる」です。

問6　答え 4　彼は鼻っ柱が強く、自分の非を認めようとしない。

「鼻っ柱が強い」の正しい使い方は「彼は鼻っ柱が強く、自分の非を認めようとしない。」です。 意味は「気が強く、自分の意見を曲げない」です。

問7　答え 2　耳

「耳をふさぐ」の「耳」の部分が入ります。 意味は「聞きたくないという気持ちから、聞くことを拒む」です。

問8　答え 1　糸

「糸を引く」の「糸」の部分が入ります。 意味は「裏から人を操って物事を動かす」です。

問9　答え 4　考え事をしていたせいで、授業 中は上の空だった。

「上の空」の正しい使い方は「考え事をしていたせいで、授業 中は上の空だった。」です。 意味は「他のことに心が奪われていて、注意が集中していない状態」です。

問10　答え 3　彼は何も言わないが、相手の腹を探るような目つきだ。

「腹を探る」の正しい使い方は「彼は何も言わないが、相手の腹を探るような目つきだ。」です。 意味は「相手の考えや本心を知ろうとする」です。

問11　答え 1　顔色

「顔色をうかがう」の「顔色」の部分が入ります。 意味は「相手の機嫌や様子を気にして、自分の言動を決める」です。

問12　答え 3　彼は当選するために、裏から手を回した。

「手を回す」の正しい使い方は「彼は当選するために、裏から手を回した。」です。意味は「目的を達成するために、あらかじめ裏から手配や工作をする」です。

いちごドリル プリント